



心身の健康を自らが意識し、2学期も元気に過ごしましょう

深まる秋の中、爽やかな秋風をきって、子供たちがグラウンドをかけぬけていきます。「チャレンジランニング記録会」を目標に、持久力向上や各自の目当てに向かって、全校でランニングに取り組んでいるところです。2学期から実施している「長休み」があることで、ゆとりをもって走ることを楽しめているようです。大門っ子、がんばって！



また、「姿勢をよくして学習に集中しよう」というメッセージを込めスタートした体幹運動ですが、大人の指示がなくても、一人一人がその意義を自覚して取り組んでいます。静かな音楽に合わせ背筋を伸ばし、バランスを維持する運動で気持ちもリセット。小さな取組ですが、日々継続していくことで、子供たち自身が心と体の健康を意識して実践し、元気に学校生活を送ってくれることを期待しています。



SDGsについて考える授業を展開



自分ができるSDGsについて考える授業



一食の給食を通して考えるSDGs（栄養教諭とTT）

この頃は、「SDGs」という言葉を見聞きしない日はありません。ご存じのように、「SDGs」は、2030年までに、世界で起こっている問題に対し「だれも置き去りにしない」という共通目標実現のため、世界中の人々が協力していく必要性のある「17のターゲット」を示したものです。

COVID-19のパンデミック、戦争や紛争、気候変動や自然災害、食料問題等々、これからの社会は、本当に予測不能であると言われていています。そのような社会に、目の前の子供たちがやがて出ていくとすれば、小学校教育において何ができるか、どんな力を付けることが大切なのかを考える必要があります。そこで、2学期からは、学年の発達の段階に応じて、各クラスで「SDGs」の視点を加えた授業を展開しています。

「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金」について(案内)

厚生労働省から上記のことについて案内がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響による小学校等の臨時休業や、子どもが新型コロナウイルスに感染した（またはそのおそれがある）等の事情により、子どもの世話を保護者として行うことが必要となった場合に、

- ・労働者として雇用している保護者に対し、年次有給休暇とは別の有給の休暇を取得させた企業に対しては、小学校休業等対応助成金
- ・個人で業務委託契約等をしていただけなくなった保護者に対しては、小学校休業等対応支援金が国から支給されます。

◎対象となる期間や詳細な手続などは、厚生労働省ホームページでご確認下さい。

教師も学び直し「ふるさと:大門のよさ」

本校では、体験活動を大切に「ふるさと学習」を年間カリキュラムに位置付けています。大門の豊かな自然やその縮図としてのビオトープ。地域に受け継がれるまつり。歴史や遺跡、偉業を成し遂げた素晴らしい方々。ゲストティーチャーを迎えたり、地域の宝を守り続けるために努力している方々と交流したりするなど、発達段階に応じて計画的に実施しています。

そこで、充実した「ふるさと学習」を展開していくためには、教師自身が、ふるさと大門について学び、その素晴らしさを実感することが大切であると考え、教職員による「ふるさと研修」を行うことにしました。

まず、10月3日には、正力小林記念館や稲垣示記念碑を見学したり、「ふるさと学習」の冊子を持ち寄り、庄川の大水害等を学んだりしました。また、21日には、ビオトープアドバイザーの表先生と一緒に、「水」にこだわり、半日かけて大門校区を探検します。子供たちと、この素晴らしいふるさと大門で学び、共に成長できる喜びを分かち合っていきたいと思います。



11月12日(土)「学習の発表会」について

11月12日(土)に予定している「学習の発表会」についての案内が本日配布されます。そこでも触れておりますが、本行事は、学習の一環として、日頃学習した内容や成果を発表する場としています。

また、日々の学習においても今だ感染対策を講じて行っている状況であるということ、さらに、学習すべき内容が年間カリキュラムに計画的に組み込まれているということに則って、以前のように発表会のためにだけ特設した演目を実施するのは難しい状況です。

つきましては、保護者の皆様のご理解を賜り、限られた時間や学びの場で工夫を凝らしながら取り組んでいる姿を温かく見守っていただきますよう衷心よりお願い申し上げます。